

平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 不二精機株式会社
 コード番号 6400 URL <http://www.fujiseiki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊井 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本 幸司

TEL 06-4306-6822

四半期報告書提出予定日 平成23年5月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	1,507	4.1	66	△37.4	55	△36.9	40	△69.4
22年12月期第1四半期	1,447	4.5	105	—	87	293.1	132	395.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	5.96	—
22年12月期第1四半期	19.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	5,761	—	523	—	9.1	—	76.89
22年12月期	5,591	—	469	—	8.4	—	68.96

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 523百万円 22年12月期 469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,866	△1.5	157	△30.5	103	△26.4	103	△41.1	15.13
通期	6,060	4.4	340	2.4	240	72.7	240	3.4	35.24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年12月期1Q	7,354,000株	22年12月期	7,354,000株
② 期末自己株式数	23年12月期1Q	544,200株	22年12月期	544,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年12月期1Q	6,809,800株	22年12月期1Q	6,809,800株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部企業を中心に収益改善の兆しを見せるものの、消費不振によるデフレ圧力は依然として強く、総じて企業収益の圧迫要因の懸念は拭い去ることができない状況にあります。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車分野、液晶パネル用導光板などの新規分野への事業展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「見える化」をはじめとする日々の業務の改善活動に取り組んでおります。

このような結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、前年同四半期比59百万円(4.1%)増の15億7百万円となりました。

損益につきましては、精密成形品その他事業の原価率の悪化による粗利率の減少があり、営業利益は、前年同四半期比39百万円(37.4%)減の66百万円、営業利益が減少したことなどにより、経常利益は、前年同四半期比32百万円(36.9%)減の55百万円、過年度増値税等を特別損失に計上したことなどにより、当四半期純利益は、前年同四半期比91百万円(69.4%)減の40百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1億69百万円(3.0%)増の57億61百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末比1億58百万円(5.1%)増の32億80百万円となりました。これは、主として、現金及び預金が2億15百万円、未収入金が96百万円、前連結会計年度末に比べそれぞれ増加した一方、製品が1億7百万円減少したためであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1億15百万円(2.3%)増の52億37百万円となりました。

これは、主として、長期借入金が5億30百万円及び社債が4億19百万円増加し、短期借入金が8億90百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比53百万円(11.5%)増の5億23百万円となりました。

これは、四半期純利益40百万円により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月18日付で公表しました連結業績予想の変更はありません。

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。今後におきまして、連結業績予想数値修正の必要が生じた場合は、適時適切に開示を行ってまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②たな卸資産の計上

たな卸資産の計上は、帳簿たな卸高と、一部実地たな卸高によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計方針の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。なお、この変更に伴う損益に与える影響額はありません。

2. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,086,993	871,079
受取手形及び売掛金	1,177,238	1,278,100
製品	200,602	307,617
仕掛品	234,498	212,471
原材料及び貯蔵品	112,988	70,554
未収入金	361,292	264,640
繰延税金資産	75,937	76,556
その他	40,839	47,639
貸倒引当金	△10,017	△7,180
流動資産合計	3,280,373	3,121,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	745,234	737,916
機械装置及び運搬具(純額)	926,850	916,524
土地	530,735	532,595
建設仮勘定	54,263	74,489
その他(純額)	69,982	66,035
有形固定資産合計	2,327,066	2,327,561
無形固定資産		
無形固定資産合計	37,122	35,054
投資その他の資産		
投資有価証券	9,434	11,168
長期貸付金	4,000	4,000
繰延税金資産	22,415	22,083
その他	76,590	79,193
貸倒引当金	△8,275	△8,563
投資その他の資産合計	104,165	107,882
固定資産合計	2,468,355	2,470,497
繰延資産		
社債発行費	12,518	—
繰延資産合計	12,518	—
資産合計	5,761,246	5,591,976

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	616,432	569,641
短期借入金	2,418,095	3,308,384
1年内償還予定の社債	60,480	—
未払金	202,181	201,794
未払法人税等	3,476	8,260
賞与引当金	68,175	64,106
製品保証引当金	5,122	5,559
その他	127,220	146,046
流動負債合計	3,501,184	4,303,792
固定負債		
社債	419,520	—
長期借入金	1,153,787	622,869
長期未払金	28,458	26,248
繰延税金負債	63,881	65,593
退職給付引当金	1,322	1,186
役員退職慰労引当金	14,539	48,811
事業撤退損失引当金	54,976	53,878
固定負債合計	1,736,484	818,587
負債合計	5,237,669	5,122,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,592	948,592
資本剰余金	139,280	918,000
利益剰余金	△158,125	△977,413
自己株式	△261,837	△261,837
株主資本合計	667,909	627,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,565	3,298
為替換算調整勘定	△145,897	△161,043
評価・換算差額等合計	△144,332	△157,744
純資産合計	523,577	469,596
負債純資産合計	5,761,246	5,591,976

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,447,179	1,507,057
売上原価	1,103,485	1,211,032
売上総利益	343,694	296,024
販売費及び一般管理費	238,309	230,005
営業利益	105,384	66,019
営業外収益		
受取利息	287	325
為替差益	12,394	16,855
その他	1,569	4,496
営業外収益合計	14,251	21,677
営業外費用		
支払利息	30,378	24,998
その他	1,891	7,596
営業外費用合計	32,269	32,595
経常利益	87,367	55,101
特別利益		
固定資産売却益	—	602
匿名組合投資利益	31,362	—
特別利益合計	31,362	602
特別損失		
固定資産売却損	—	141
固定資産除却損	651	13
過年度増値税等	—	10,815
特別損失合計	651	10,970
税金等調整前四半期純利益	118,077	44,733
法人税、住民税及び事業税	2,828	5,548
法人税等調整額	△17,278	△1,384
法人税等合計	△14,450	4,164
少数株主損益調整前四半期純利益	—	40,568
四半期純利益	132,527	40,568

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成23年3月25日開催の第46期定時株主総会決議に基づき、欠損填補及び早期復配体制の実現を目的として資本準備金を918,000千円減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、増加したその他資本剰余金918,000千円のうち、778,719千円を繰越利益剰余金に振り替えております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における資本剰余金が139,280千円、利益剰余金が△158,125千円となっております。